



寺ネット・サンガ通信 第17号

寺ネット・サンガ事務局 〒146-0082 東京都大田区池上1-19-10 永寿院内
Fax 03-3751-0533・メール info@teranetsamgha.com

サンガの10年を振り返る



寺ネット・サンガ代表 吉田尚英

初期のサンガ

2008年9月17日、「寺ネット・サンガ」発足。設立当初、①キックバックをしない ②ファンド（基金）を作る ③エンディングに携わる人たちとともに社会活動・公益事業を行う という3つの枠組みがありました。

特に、会員葬儀社の紹介で会員僧侶が葬儀を営み、預かった「布施」をのファンドに入金して社会に還元するという構想が話題を呼びマスコミでも取り上げられました。このファンド構想の動機は、葬儀の布施から多額の金額が葬儀業者にキックバックされることへの批判です。施主が善徳を積むためにと布施した金額の半分以上が業者の懐に入ってしまうことへのアピールでもありました。

ファンドには、初年度240万円余が入金され、5つの団体に寄付されましたが、会員僧侶の人数不足などが原因で葬儀執行のしくみは立ち行かなくなり、ファンドを維持していくには困難であると判断。ファンドは1年で解消する結果となりました。その後、世の中では葬儀への僧侶派遣会社が多数設立されましたが、今にして振り返るとサンガのファンドは、営利目的ではない葬儀派遣の先駆けであったのではないかと思います。

活動プランコンテスト

サンガ設立当初は、葬儀社や石材店、保険や社会活動をするNPOなど様々な方々が会員になっていました。その会員たちはサンガに何を期待し、何かをやりたいという意志をどのように反映するか問う「活動プランコンテスト」が2010年3月15日に開催されました。コンテストで優勝したプランが、今でも盛況の『仏教ひとまわりツアー』です。

ファンドが頓挫し、イベントや情報発信に方向を切り替えた結果、離れていった業者もいましたが、仏教やお寺に関心のある一般の方の参加が増え、より敷居が低く入りやすい仮想寺院となっていったのだと思います。

「坊コン」と「仏教ひとまわりツアー」

「坊さんと話せる日、坊さんに話せる場」というサンガの定例会「坊コン」は2010年11月にスタートして、現在まで約50回開催。日常生活であまり考えることのない仏教や儀礼、生老病死のことなどをテーマに、お坊さんとともに楽しく学び、人生に向き合うひとときです。

「仏教ひとまわりツアー」は2011年1月にスタートして、「寺町ウォーキング」や「サンガの遠足」などにマイナーチェンジをしながら、現在まで通算30数回開催されました。各宗派の寺院をめぐり、個性的な活動をしている住職のお話を伺い、プチ修行をして、仏教にふれて心をほぐす小さな旅です。神社やキリスト教教会、モスクも訪問しました。

この10年間、たくさんの方々に出会い、ご協力をいただいて、活動を続けてくることができました。これからもサンガの理念である『出会いの場、気づきの場、救いの場』でありたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

12月21日（木）

日蓮宗吉田尚英、真言宗名取芳彦、
臨済宗藤尾聡允、浄土真宗松本智量

お坊さんの基本の「キ」

「どうしたらお坊さんになれるの?」「各宗派系列の大学について」「お坊さんって階級があるの?」「お坊さんの仕事ってどんなこと?」などの質問に4人の僧侶がトーク形式で答えました。

修行の期間や場所・大学の教育内容・「僧階」という僧侶の階級など、同じお坊さんでも宗派によっては答えが違ってくことも多々あり、それらの違いを知ることもサンガの坊コンの面白いところです。

2月19日（月）

日蓮宗吉田尚英、真言宗名取芳彦、臨
済宗藤尾聡允、浄土真宗松本智量

お経の基本の「キ」

お経はお釈迦さまがその場で書かれたものではなく、文字が成立してから書かれたもので、日本で読まれているお経は漢訳されたもの。お経はすべてお釈迦さまの教えなのですが、その中のどれを選ぶかによって宗派に分かれました。

また、お釈迦さまの悟りの本質は文字で表すことができないものなので、悟りの世界があることを信じて、その方法論や近づく道筋を方便としてあらわしたものがお経であるともいわれます。

6月14日（木）

日蓮宗吉田尚英、真言宗名取芳彦、臨
済宗藤尾聡允、浄土真宗松本智量

日本仏教のキホン —なぜたくさんの宗派があるの?—

お釈迦さまの入滅後、弟子たちは考え方の違いから二つに分裂。その中の大乘仏教が中国に伝わりいくつかの宗派に分かれ日本にも伝わりました。

たくさんの経典の中に登場するたくさんの仏。その中から特定の経典と仏を選んだそれぞれの宗派の祖師がいて、さらに、時代背景や宗派内部の人脈や価値観が複雑に絡み合っただけで現在に至ったのです。祖師・先師の思いを受け継いでいるのは自分であるという決意の表れともいえるかもしれません。

心のマッサージ

平成29年10月～平成30年5月

10月17日（火）



臨済宗建長寺派 藤尾聡允

プチ座禅体験 臨済宗

『調身』背筋を伸ばしつつも肩の力を抜き全身を緩めます。

『調息』普段は無意識にしている呼吸をあえて意識的にします。

『調心』調身と調息ができると心が整うと心の深いところに触れられます。

そうすると自力と他力のはざまに、意識が無意識の領域に入ることがあります。これが、「己事究明」（こじきゅうめい）の状態です。心に生じている感覚や思考を眺めながら、深層の声を一つ聞いていきましょう。

4月3日（火）



曹洞宗 前田有全

プチ坐禅体験 曹洞宗

『数息観』（すそくかん）目をつぶって、自分の呼吸に合わせて1～10まで数を数えます。10まで行ったらまた、1から数えていきます。

『只管打坐』（しかんたざ）薄目を開けて自分の鼻の頭をぼんやりと見るような感じで、力を抜いた状態で肺の活動に任せて呼吸をします。

私という意識を無くし、何の目的をも持たずにただ坐することで、あるがままの自分に落ち着くと、苦しみからも解き放たれるのではないかと思います。

※さらに詳しい内容はホームページとフェイスブックに掲載しています。「寺ネット・サンガ」で検索を。



2017年11月10日（金） 鎌倉遠足 Part 2

北条氏に滅ぼされた比企家の屋敷跡に建つ「比企谷 妙本寺」～“ぼたもち寺”と呼ばれる「常栄寺」～日蓮聖人の庵室跡「松葉谷 安国論寺」～日蓮聖人が法難から逃れるために通った「名越の切通」～日蓮聖人が猿に導かれて逃れた地に建つ「御猿畠法性寺」というコースで日蓮聖人の足跡をたどる小旅行でした。



2018年5月28日（月） 鎌倉遠足 Part 3

鎌倉時代慈善事業に尽くした良観坊忍性が開山した「極楽寺」～観光客であふれる鎌倉の大仏「高德院」～由比ガ浜～材木座海岸～浄土宗の関東大本山「光明寺」というコース。鎌倉時代は職人や漁師など庶民が行き会う場でもあり、死の穢れを追いやる先であった「前浜」を歩きました。



2018年4月22日（日） 寺町ウォーキング in 大阪

サンガ事務局員 青木隆興さんの自坊「興徳寺」～「真田丸」旧跡～上町台地周辺の寺町～生國魂神社～夕陽ヶ丘の寺町～「愛染堂 勝鬘院」にて国の重文 多宝塔を参拝～「四天王寺」にて聖霊会舞楽大法要を参拝～「一心寺」のお骨仏参拝～通天閣下の串揚屋で一杯。ディープな大阪を味わう旅でした。



2018年9月28日（金） 多摩川台古墳群と等々力溪谷

東急多摩川駅～浅間神社古墳～多摩川台公園～古墳展示室～田園調布の街並みという前半のコースは、まるでエジプトの「王家の谷」のように権力者の墓が林立する古墳銀座です。後半は国分寺崖線の縁を流れる丸子川（旧六郷用水）に沿って歩き「等々力不動」「等々力溪谷」へ。歴史と自然を満喫する旅でした。



サンガのお茶会

7月25日(水)



「ほうずき市」でにぎわう神楽坂に繰り出し、お茶会を開催しました。参加者が全員女性だったこともあり、神楽坂にある和の小物屋さんをハシゴしながら「毘沙門天 善国寺」へ。夕方の市に向けて出店が準備を進め活気あふれる街とは一転、静かな本堂をお参りしました。お参りの後、ティータイムでは、神楽坂の話題などで話が弾み、初めて会ったかたとも和やかなひと時を過ごしました。店を出ると街は「ほうずき市」で盛り上がり、それぞれ雰囲気を楽しみながら帰途に着きました。

サンガの暑気払い

8月23日(木)



寺ネット・サンガ初の「会員限定イベント」としてサンガの暑気払いを開催。お坊さんにとって8月末は、お盆が明けてひと段落。燃え尽きてボロボロのお坊さんや、解放感一杯ではじけているお坊さんと、一緒に一杯やりましょう！との呼びかけに、15人の会員さんが集まりました。雷門で待ち合わせ、浅草寺を参拝した後、「ねぎま鍋」で懇親会。夏の鍋に舌鼓の後は、カラオケボックスではじけるお坊さんに腹を抱えて笑う会員さん。夏の終わりの狂宴でした。今後も「会員限定イベント」を企画する予定です。

法華塾に協賛

9月6日(木)～7日(金)



サンガの吉田代表が運営委員として参加している「法華塾」にサンガの事務局員が講師として協力しています。今年の法華塾の年間テーマは『なぜ今、お題目なのか?』。日蓮宗のお題目を外から見つめてみようという趣旨のもと、9月には樋口清美事務局長が「新宗教のお題目」について、11月は藤尾聡允・松本智量・青木隆興の事務局三師と吉田代表によるパネルディスカッションが行われます。11月の法華塾は池上本門寺で19日20日の一泊二日で開催。詳しくはサンガのホームページをご覧ください。

寺ネット・インフォメーション

正会員は寺ネット・サンガのホームページで情報を発信することができます

事務局にお申し出いただきますと、正会員用アカウントを発行させていただきます。ログインして「会員用のマニュアル」に沿って、登録や記事の投稿をしてください。ご自身の活動発表やイベントの告知等、仏教関係のみならずイキイキと生活するための公共の利益になる情報・知識大歓迎です。

会員募集と新年度会費納入のお願い

- ・正会員「サンガを作り上げていく人」 年会費 10,000円
議決権あり・公開運営会議への参加あり。ホームページへ記事の投稿が可能
サンガ通信と総会議事録が郵送されます。
- ・賛助会員「サンガを楽しみ応援する人」 年会費 3,000円
議決権なし・公開運営会議への参加なし。ホームページへ記事の投稿不可
サンガ通信が郵送されます。

《お振込先》 三菱東京UFJ銀行 池上支店 普通0120753 (名義: テラネットサンガ)

